

大阪経済記者クラブ会員各位

医療従事者支援プロジェクト「困った時ほど美味しいものを！」 ～「大阪コロナ重症センター」医療従事者への食事提供の開始について～

【お問合せ】

創造都市 大阪推進機構（事務局：大阪商工会議所、（公財）大阪観光局）
担当：登坂・中村・中野（大阪商工会議所・地域振興部）
TEL：06-6944-6323 E-mail：chishin@osaka.cci.or.jp

「食創造都市 大阪推進機構」（代表＝大阪商工会議所会頭 尾崎裕、（公財）大阪観光局理事長 溝畑宏）は、「困ったときほど美味しいものを！」プロジェクトの新たな支援先として、「大阪コロナ重症センター」で従事する医療関係者に、宿泊施設への夕食（温かい弁当）の配達を1月15日（金）に開始した。

逼迫する医療体制の中で、全国から集まった「大阪コロナ重症センター」の医療従事者に、少しでも元気になってもらおうと、3月末まで週1回*を目標に食事の提供を行う。

※感染状況や協賛金等の動向によって、食数・期間・配達頻度は変更の可能性あり。

- 「困ったときほど美味しいものを！」プロジェクトは、最前線で闘う医療従事者を応援することを目的に、ミシュラン星つきレストラン等のシェフ有志が発案し、昨年7月に立ち上げたプロジェクト。企業等から協賛金を募り、大阪府内の新型コロナウイルス感染症患者受け入れ病院に対し、これまで複数回にわたりシェフ自らが考案し調理したテイクアウトメニューの配達を行ってきた。
- 本プロジェクトは、感染症拡大時のほか、災害発生時等においても同様の取り組みが実施できる「有事にも美味しい食を提供するインフラの構築」を目指し、継続的な仕組みを構築していくことを目的に実施。この仕組みを通じて、最前線で闘う医療従事者に普段より美味しい食事を提供するだけでなく、休業や営業時間の短縮により売上が減少する飲食店の支援や、食べた人に喜んでもらうことによる飲食店のモチベーション向上にもつなげていく。
- 現在、本プロジェクトを継続的に実施していくために、ご賛同いただける企業・個人の協賛を広く募集している。いただいた協賛金は、料理の他、配達、事務手数料等の活動資金とする。

【「困った時ほど美味しいものを！」プロジェクト 概要】

1. プロジェクト内容

企業・個人から協賛金を募り、医療従事者にシェフ自らが考案した大阪の食を無料で大阪府内の新型コロナウイルス感染症患者受け入れ主要病院、医療関係者宿泊施設等に提供する。

2. プロジェクト実施期間

2020年7月～2021年3月末

※期間延長の可能性有。また、期間終了後も継続的に取り組み可能な仕組みを構築する。

3. 実績

- ・2020年7月21日（火） 十三市民病院 200食配達
- ・2020年9月8日（火） 十三市民病院 200食配達
- ・2020年12月21日（月） 十三市民病院 200食配達
- ・2021年1月15日（金） 大阪コロナ重症センターで従事する医療関係者向け 40食配達



4. 飲食店有志

アニエルドール（フレンチ）、柏屋（日本料理）、空心（中国料理）、コムニコ（イノベーション）、ディファランス（フレンチ）、Rivi（イノベーション）、ル・シュクレール（ベーカリー）他 ※五十音順

<コーディネーター>

食創造都市 大阪推進機構 マーケティング&PR ディレクター
鈴木 裕子 氏（株式会社 Office musubi 代表）

5. 協賛について

法人・団体は1口10万円、個人は1口1万円から申し込みを受け付ける。詳細は、大阪商工会議所・地域振興部までお問い合わせください。

《ご参考：大阪コロナ重症センターについて》

概要：新型コロナウイルス感染症の重症患者が急増した場合に備えて大阪府が整備した臨時医療施設

設置場所：大阪急性期・総合医療センターの敷地内（大阪市住吉区）

病床数：重症病床30床（すべての病床に人工呼吸器を配備）

設置期間：2年間（感染拡大の状況により判断）

運営体制：府内医療機関、関係機関等からの人員の派遣により、運営体制を構築

以上